



ざっけいん
京都市指定名勝「雑華院庭園」内の
サワラの後継樹が里帰り
りんぼく
—林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービス—

ポイント

京都市指定名勝「雑華院庭園」（京都市右京区）内のサワラの後継樹の苗木が、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場から里帰りします。

概 要

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場（岡山県勝田郡勝央町）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保全を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。このサービスを利用した雑華院からの増殖の要請を受けて、「雑華院庭園内のサワラ」の後継樹としてつぎ木・さし木により増殖し育てた苗木が里帰りします。

○里帰り日時及び場所 日 時：令和3年3月16日（火曜日）13時00分～（雨天決行）
場 所：京都府京都市右京区花園妙心寺町55 雑華院

○里帰りする苗木本数 つぎ木増殖苗 3本 ・ さし木増殖苗 5本

お問い合わせ先

○国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場
（平日 8:30～17:15）

事業責任者：遺伝資源管理課 課 長 坂本 庄生（さかもと しょうき）

担当者： 収集管理係長 山本 あゆみ（やまもと あゆみ）

広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 林 勝洋（はやし かつひろ）

Tel：0868-38-5138

Fax：0868-38-5139

○宗教法人 雑華院

担 当 者：住職 渋谷 厚保

Tel：075-461-1987

Fax：075-461-4671

本資料は、京都府政記者クラブに配付しています。



背景

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、関西育種場では、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱しているこれら樹木の後継樹の苗木を増殖し、里帰りを行うサービス「林木遺伝子銀行110番」を平成15年から実施しています。当育種場では令和元年度までに95件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました。後継樹の苗木は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として成長することが期待されます。

内容

今回里帰りする後継樹の親木は、京都市指定名勝の「雑華院庭園」に生えるサワラです。

サワラが植えられている雑華院は天正11年（1583年）に創建された臨済宗大本山妙心寺の由緒ある塔頭寺院であり、その方丈南庭は『都林泉名勝図会』（1799年刊行）にも描かれている枯淡みの深い趣のある枯山水の平庭（京都市指定名勝）です。

このサワラは大きく枝を張って、名勝庭園の景観に趣を一段と添えているだけでなく、『都林泉名勝図会』にも描かれていることから、江戸時代の作庭当初から存在していたことが分かる大変貴重な古木ですが、残念なことに長年の腐食による幹の空洞化、近年の台風による折損により樹勢が衰え、倒壊の危機に瀕しています。

そのため雑華院より平成30年11月に関西育種場に林木遺伝子銀行110番の申請があり、親木から枝（穂木）を採取し、当育種場でつぎ木とさし木による増殖を試みました。無事増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがたった苗木（つぎ木3本、さし木5本）を令和3年3月16日に里帰りさせることとなりました。

写真等

雑華院庭園内サワラ（親木）



※サワラ（ヒノキ科ヒノキ属）の針葉樹

『都林泉名勝図会』 画像提供者：国際日本文化研究センター



里帰り苗

左：つぎ木苗

右：さし木苗